

在日外国人のアルバイト実態調査（2019年）

調査概要

調査対象

日本でアルバイト経験のある15歳以上の在日外国人



調査期間

2019年3月18日（月）～4月1日（月）

調査方法

外部パネルによるWEBアンケート調査

有効回答数

294名

調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ部 アルバイトリサーチチーム E mail : myArm@mynavi.jp

INDEX

(1)回答者プロフィール

国籍 / 在留資格 / 年齢 / 性別 / 日本語能力 / 在日期間

(2)就労実態

経験社数・現在の勤務社数 / 勤務日数 / 勤務時間 / 給与 / 職種 / 職場の働きやすさ・理由

(3)就労意識

アルバイトの目的 / 不安要素 / ストレス / やりがい / 理想の上司像 / 日本で働いてみて感じた違い

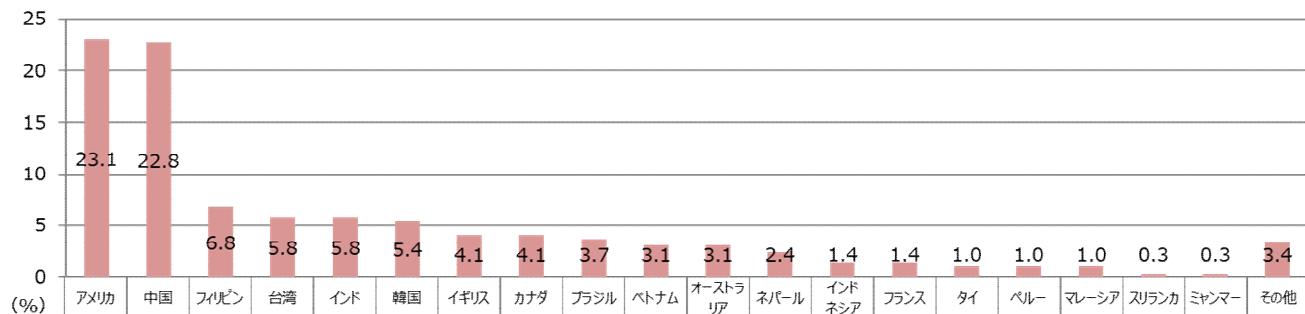
(4)アルバイト探し

アルバイト探し時に魅力に感じること / 大変だったこと / 情報源

(1) 回答者プロフィール

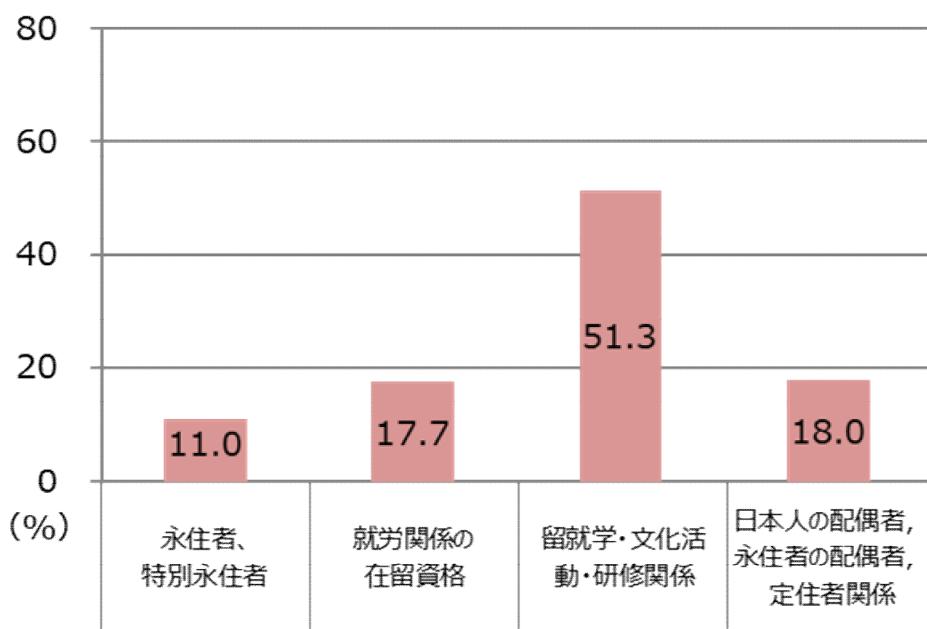
国籍（単一回答）

・全体では「アメリカ」が最も高(23.1%)、次いで「中国」が22.8%、「フィリピン」が6.8%となっている。



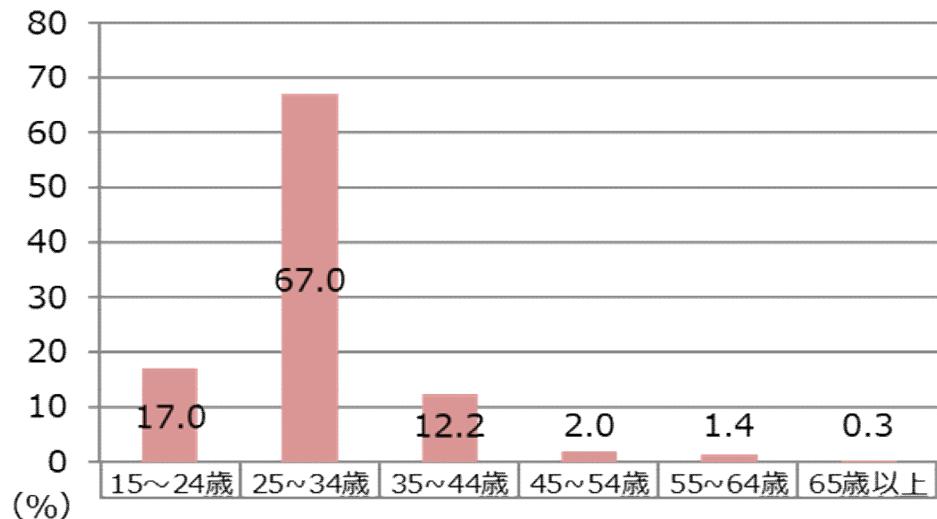
在留資格（単一回答）

・全体では「留就学・文化活動・研修関係」が最も高(51.3%)、次いで「日本人の配偶者,永住者の配偶者,定住者関係」が18.0%、「就労関係の在留資格」が17.7%となっている。



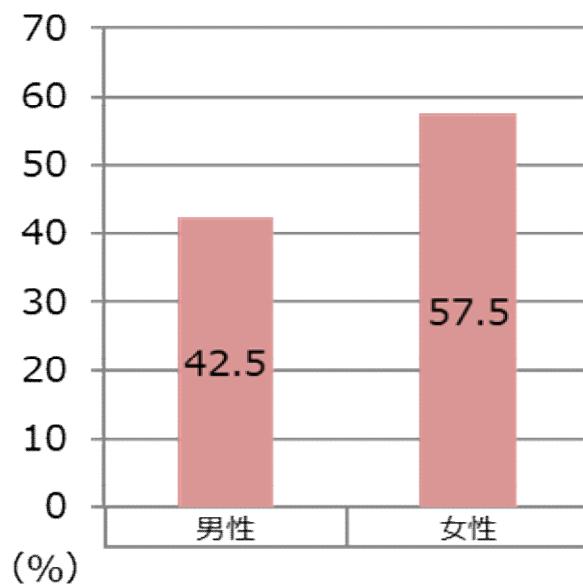
年齢（単一回答）

・全体では「25～34歳」が最も高(67.0%)、次いで「15～24歳」が17.0%、「35～44歳」が12.2%となっている。



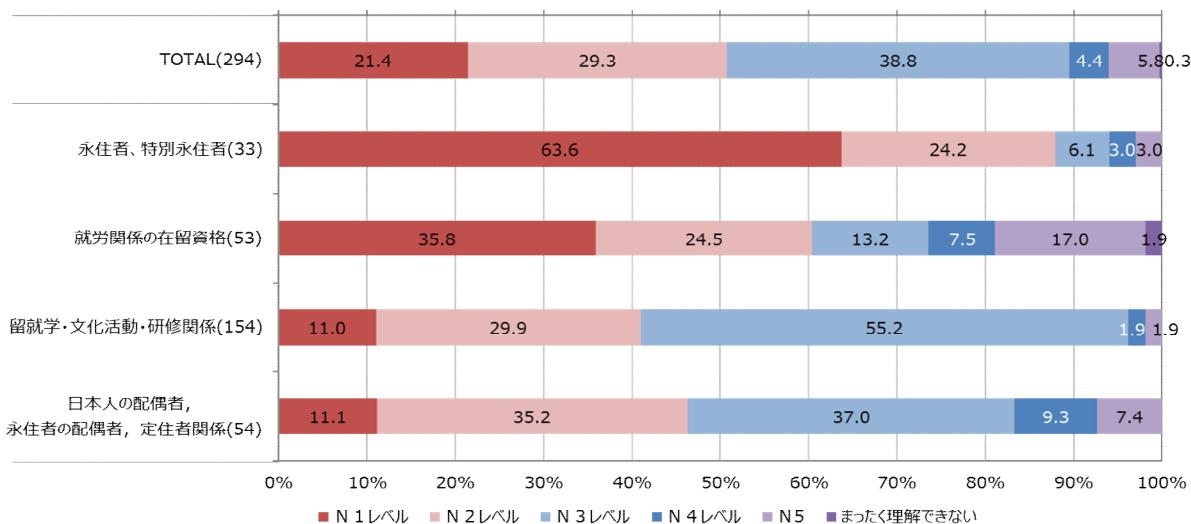
性別（単一回答）

・全体では「女性」が57.5%、「男性」が42.5%となっている。



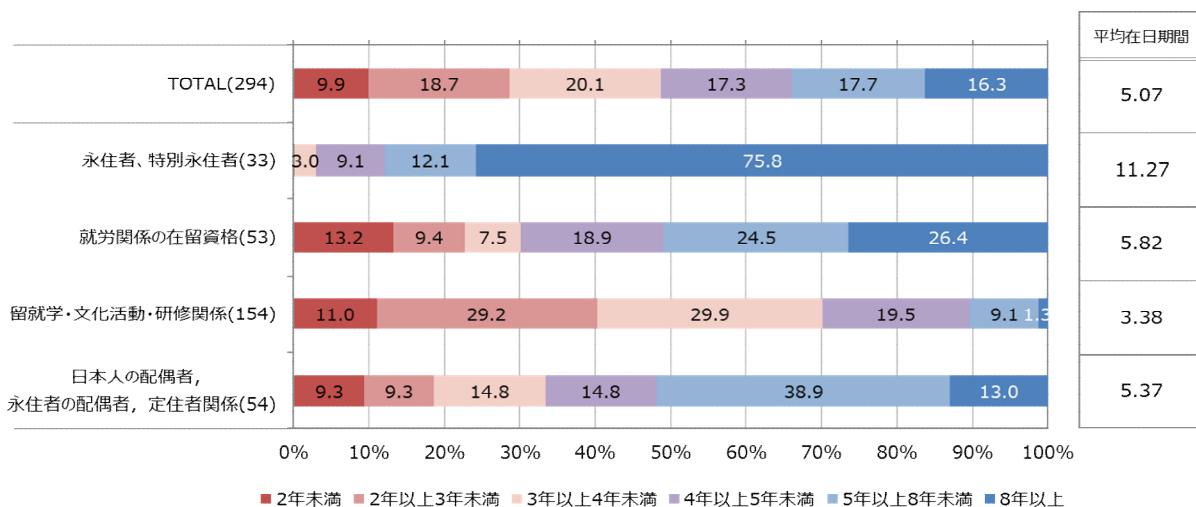
日本語能力（単一回答）

- ・全体では、「N3レベル」が最も高(38.8%、次いで「N2レベル」が29.3%、「N1レベル」が21.4%となっている。
- ・在留資格別では【永住者、特別永住者】の日本語能力が高い傾向。



在日期間（単一回答）

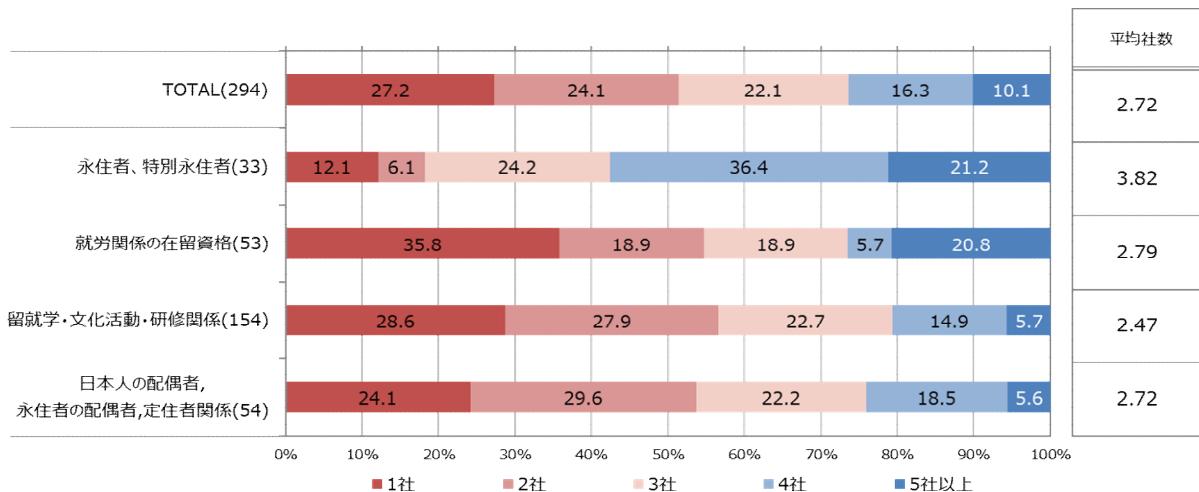
- ・全体では、「3年以上、4年未満」が最も高(20.1%、次いで「2年以上、3年未満」が18.7%となっている。
- ・在留資格別では【永住者、特別永住者】で「8年以上」の割合が高(75.8%)となっている。



(2) アルバイト就労実態

日本でのアルバイト経験社数（数値回答）

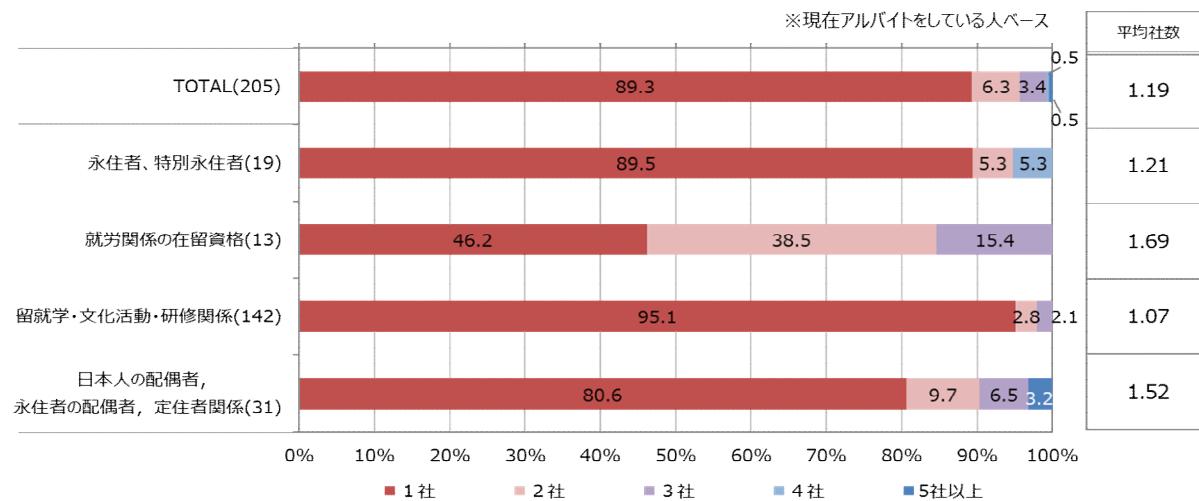
・全体では、「1社」が27.2%と最も高く、次いで「2社」が24.1%となっている。平均は2.72社



現在のアルバイト社数（数値回答）

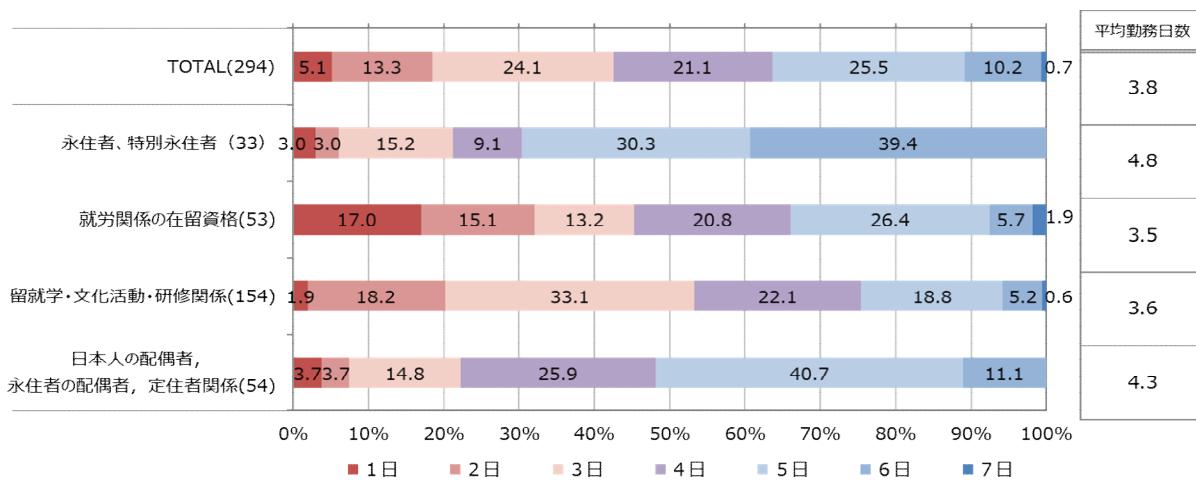
・全体では、「1社」が最も高く89.3%、平均は1.19社。

・在留資格別では【就労関係の在留資格】は半数超が複数社でアルバイトをしており、他の在留資格所持者とは異なる傾向。



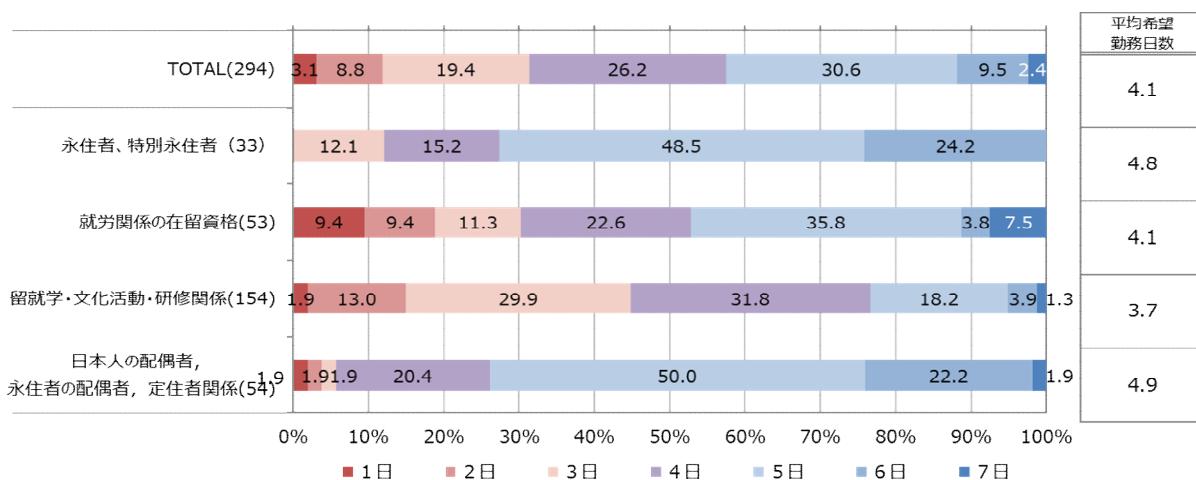
1週間あたりの勤務日数（単一回答）

・全体では、「5日」が25.5%と最も高く、次いで「3日」が24.1%、「4日」が21.1%となっている。平均は3.8日。

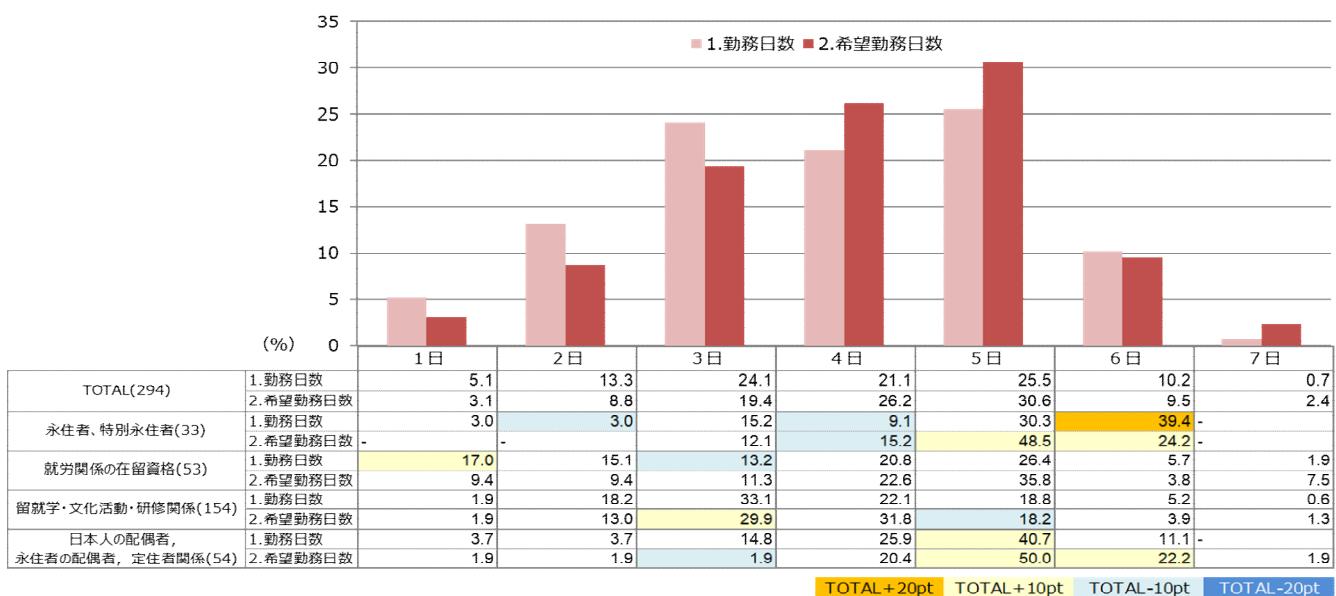


1週間あたりの希望勤務日数（単一回答）

・全体では、「5日」が30.6%と最も高く、次いで「4日」が26.2%、「3日」が19.4%となっている。

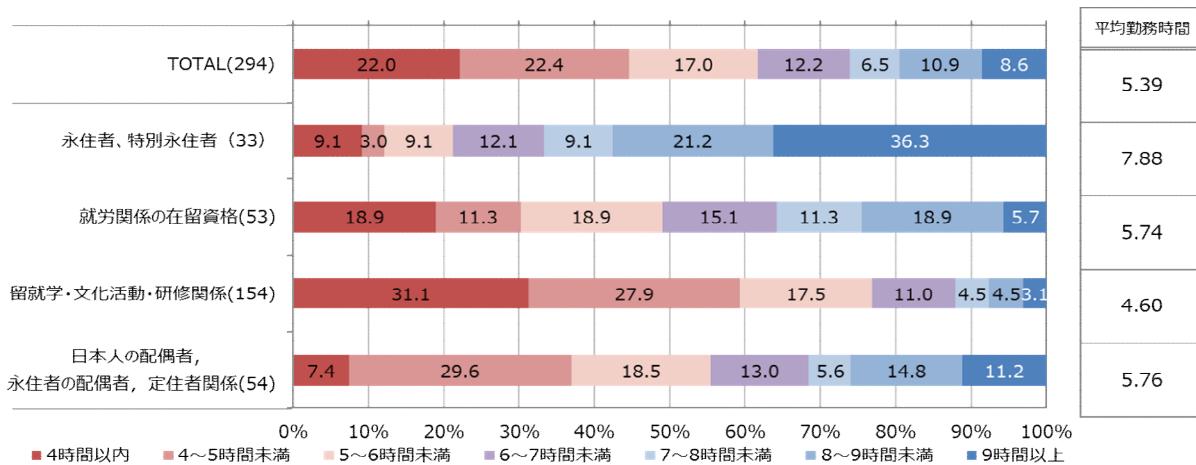


1週間あたりの勤務日数（現在　希望）



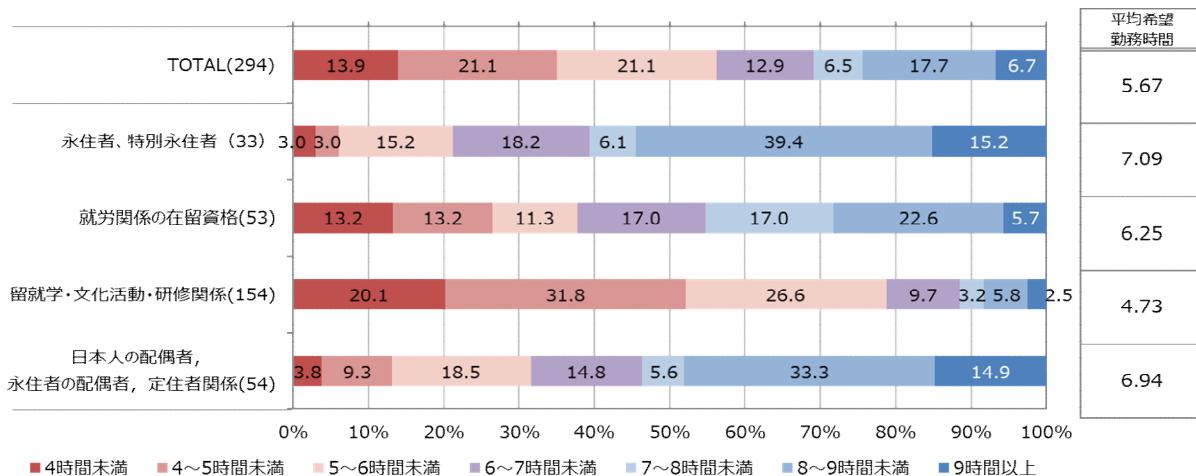
1日あたりの勤務時間（単一回答）

- ・全体では、「4～5時間未満」が最も高(22.4%)、次いで「4時間以内」が22%、平均は5.39時間。
- ・在留資格別の平均では【永住者、特別永住者】が最も長(7.88時間)、【留就学・文化活動・研修関係】が最も低(4.60時間)。

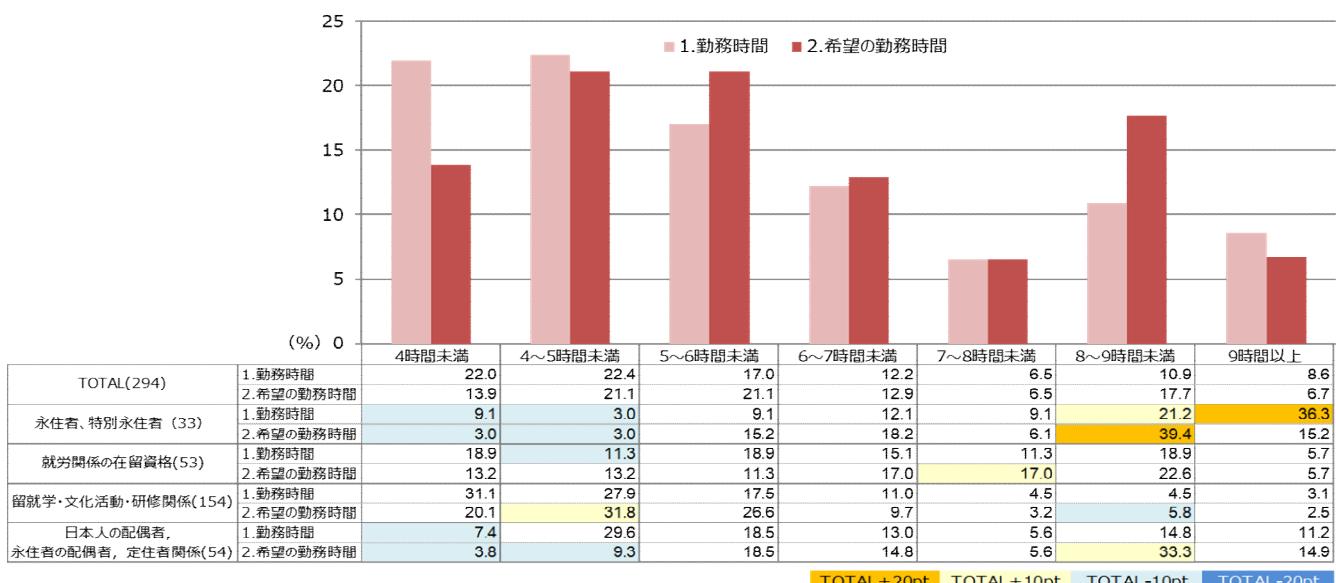


1日あたりの希望勤務時間（単一回答）

- ・全体では、「4～5時間未満」、「5～6時間未満」が最も高(21.1%)、次いで「8～9時間未満」が17.7%で平均は5.67時間。
- ・在留資格別の平均では【永住者、特別永住者】が最も長(7.09時間)、【留就学・文化活動・研修関係】が最も低(4.73時間)。



1日あたりの勤務時間（現在・希望）

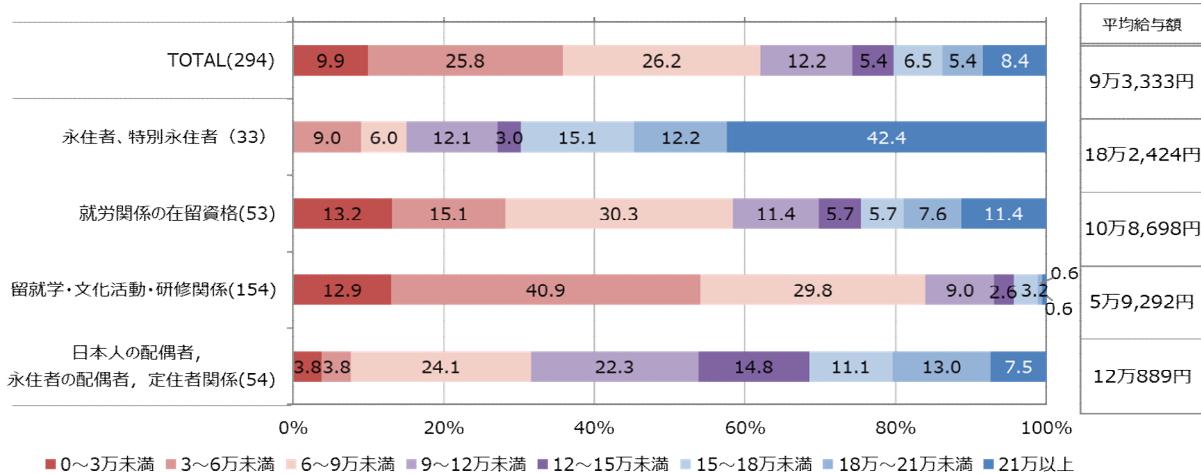


1ヶ月の給与（数値回答）

・全体では、「6万円～9万円未満」が最も高(26.2%、次いで「3万円～6万円未満」が25.8%、「9万円～12万未満」

が12.2%で、平均は9万3,333円となっている。

・在留資格別では【永住者・特別永住者】が最も高(18万2,424円)、【留就学・文化活動・研修関係】が最も低(5万9,292円)。



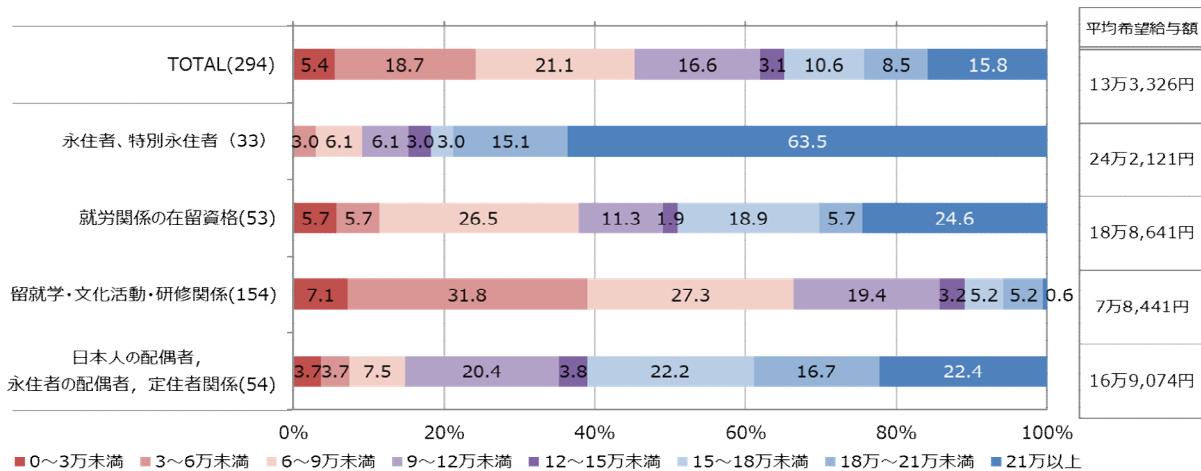
1ヶ月の希望給与（数値回答）

・全体では、「6万円以上9万円未満」が最も高(21.1%、次いで「3万円以上6万円未満」が18.7%、

「9万円以上12万円未満」が16.6%で、平均値は13万3,326円となっている。

・在留資格別では【永住者・特別永住者】が最も高(24万2,121円)、【留就学・文化活動・研修関係】が最も低(7万8,442円)。

実質給与額との差が大きいのは【就労関係の在留資格】で希望額の方が7万9944円高くなっている。



経験したことのある職種（複数回答）／現在の職種（単一回答）

- ・経験したことのある職種について全体では、「教育」が最も高(24.1%、次いで「飲食店（給仕）」が20.1%、
「販売（コンビニ）」が18.0%となっている
- ・現在の職種について全体では「教育」が最も高(16.6%、次いで「工場・製造」が12.2%、「オフィスワーク・事務」が7.8%。

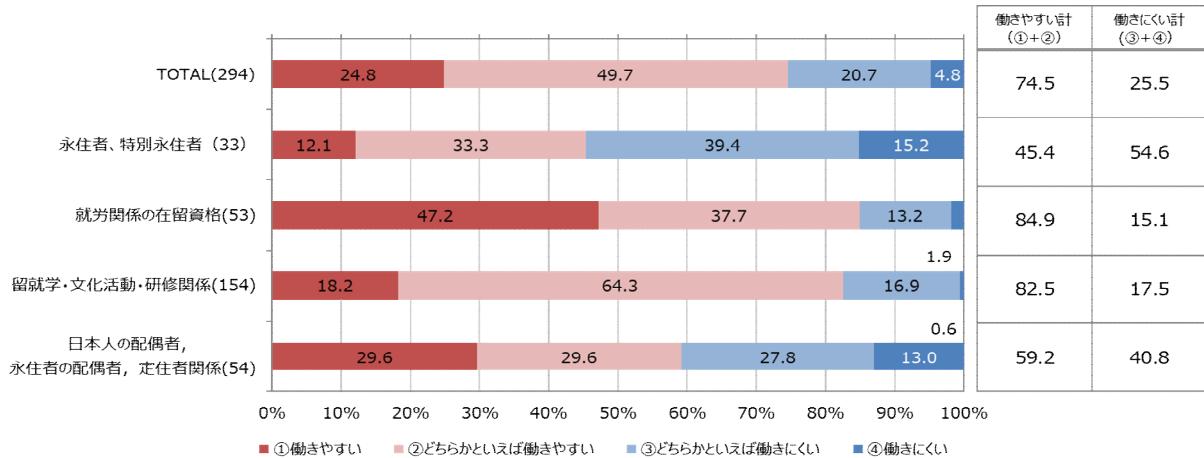
※「経験したことのある」順で降順ソート



TOTAL+20pt TOTAL+10pt TOTAL-10pt TOTAL-20pt

アルバイト先の働きやすさ（単一回答）

- ・全体では「働きやすい」もしくは「どちらかといえば働きやすい」と回答した人が74.5%と高くなっている。
- ・在留資格別では【永住者、特別永住者】だけが「働きやすい」もしくは「どちらかといえば働きやすい」と回答した人が半数以下で、他の在留資格保持者と異なる傾向である。



働きやすいと感じる理由（複数回答）

- ・全体では「希望どおりの勤務時間で働ける」が最も高(31.5%)、次いで「立地が便利である」が29.7%、「仕事が楽しい」が29.2%となっている。

「働きやすい」と回答した人ベース

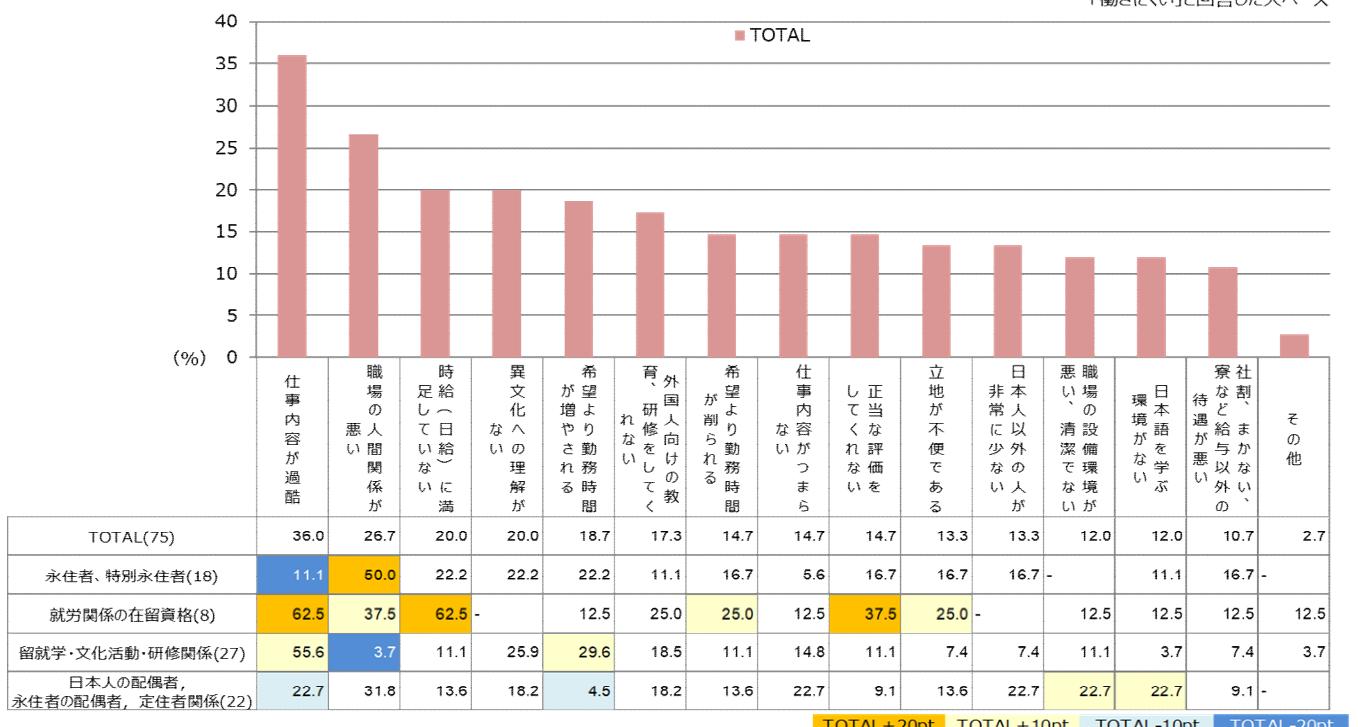


TOTAL+20pt TOTAL+10pt TOTAL-10pt TOTAL-20pt

働きにくいと感じる理由（複数回答）

- ・全体では「仕事内容が過酷」が最も高(36.0%)、次いで「職場の人間関係が悪い」が26.7%、「時給（日給）に満足していない」と「異文化への理解がない」が20.0%となっている。

「働きにくい」と回答した人ベース

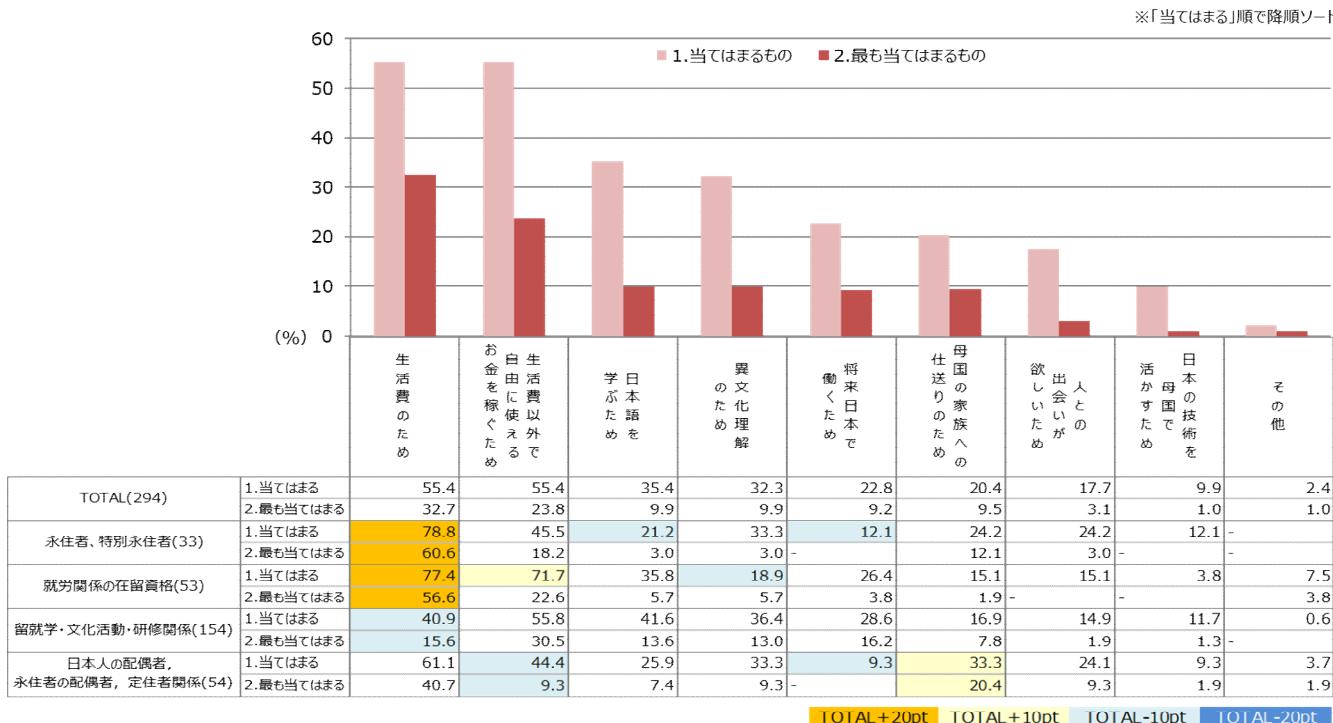


TOTAL+20pt TOTAL+10pt TOTAL-10pt TOTAL-20pt

(3) アルバイト就労意識

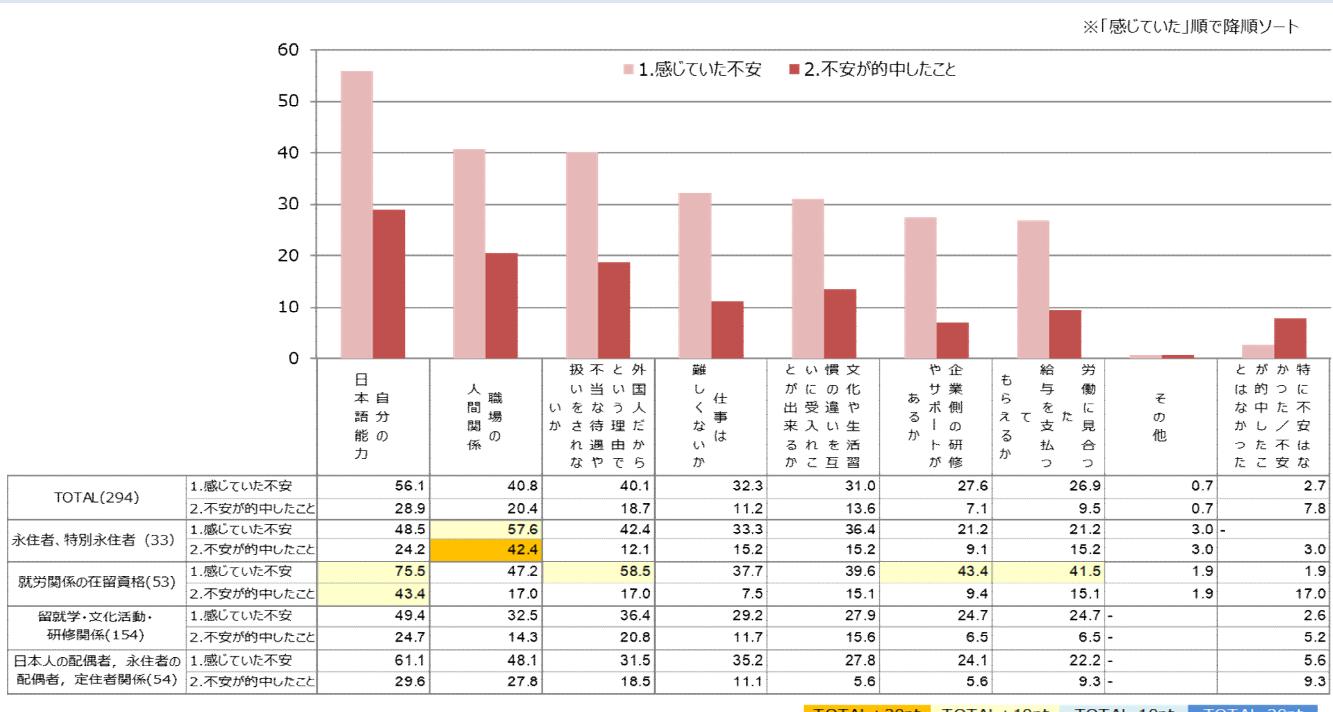
アルバイトの目的（3つまで）／最も当てはまるもの（単一回答）

- ・全体では、「生活費のため」、「生活費以外で自由に使えるお金稼ぐため」が最も高(55.4%)で、収入目的で就労している外国人が多い。収入面以外では「日本語を学ぶため」が35.4%、「異文化理解のため」が32.3%と高い結果となっている。



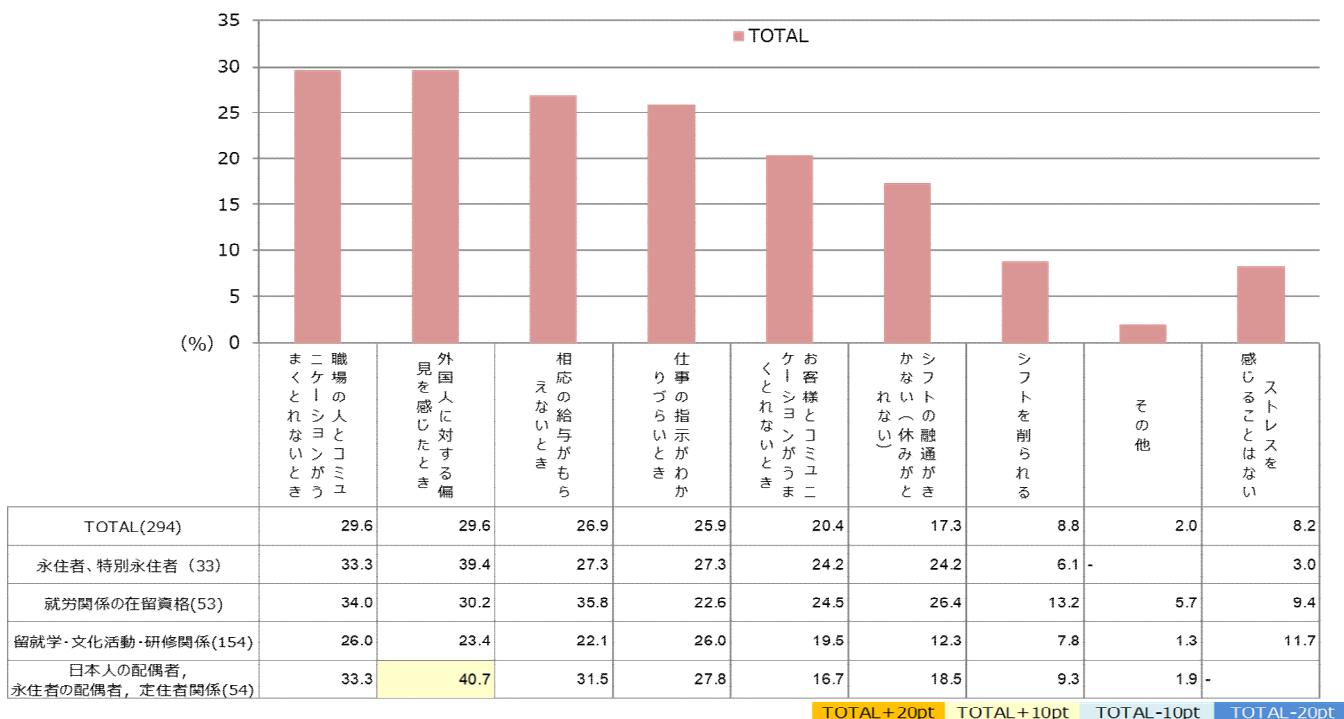
日本で働く際の不安要素（複数回答）／実際に的中した不安（複数回答）

- ・日本で働く前に感じていた不安について全体では「自分の日本語能力」が最も高(56.1%)、次いで「職場の人間関係」が40.8%、「外国人だからという理由で不当な待遇や扱いをされないか」が40.1%となっている。
- ・実際に働きはじめて不安が的中したことについても上位3つは同じ項目であった。



ストレス要因（複数回答）

- ・全体では「職場の人とコミュニケーションがうまくとれないとき」と「外国人に対する偏見を感じたとき」が最も高(29.6%)、次いで「相応の給与がもらえないとき」が26.9%となっている。



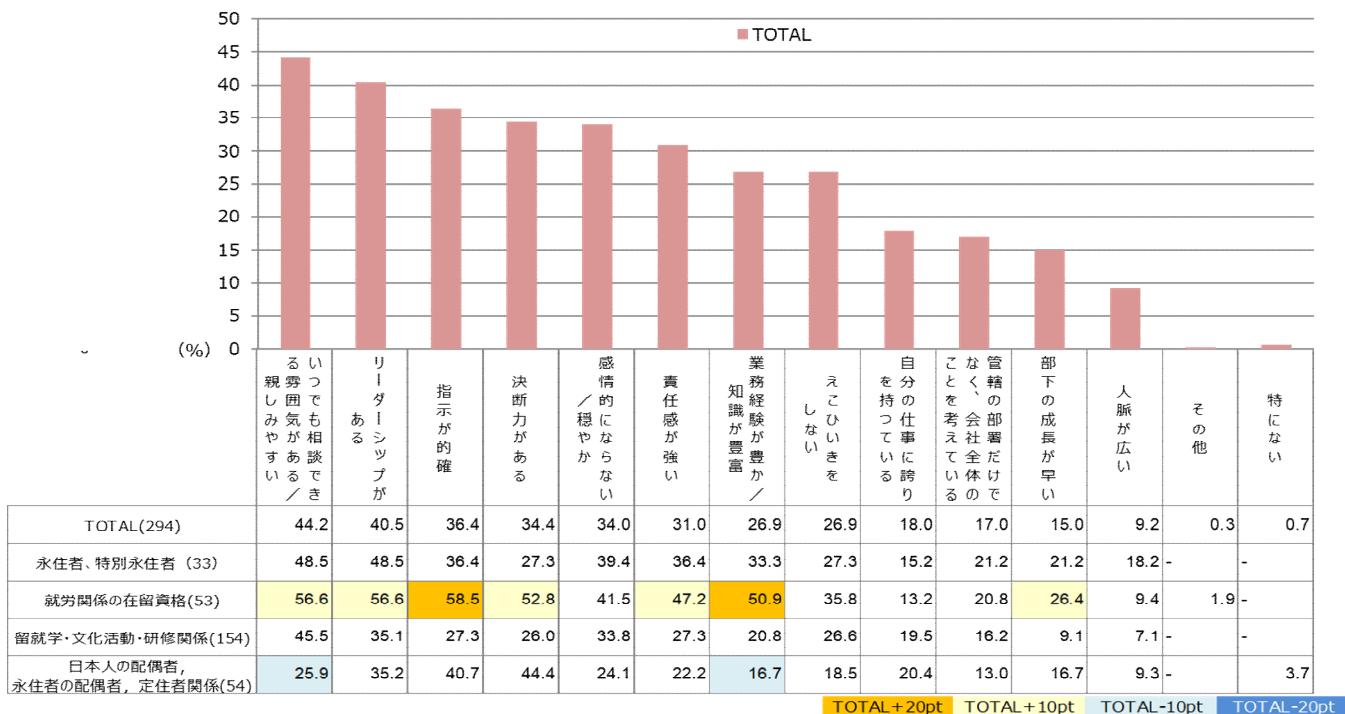
やりがい（複数回答）

- ・全体では「給与をもらったとき」が41.8%と最も高く、次いで「仕事が出来るようにになったとき」が41.2%、「お客様から感謝の言葉をもらったとき」が37.1%となっている。また、「やりがいを感じることはない」と回答した人はいなかった。



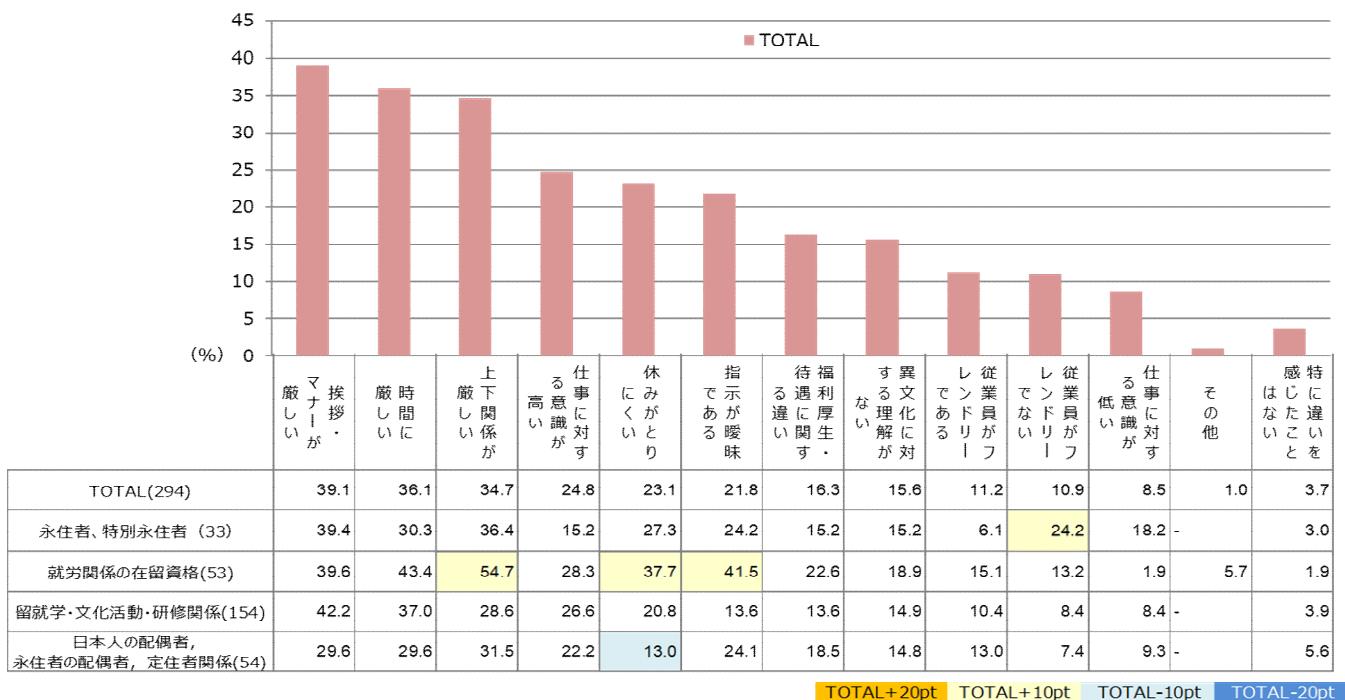
理想の上司像（複数回答）

- ・全体では「いつでも相談できる雰囲気がある/親しみやすい」が最も高(44.2%)、次いで「リーダーシップがある」が40.5%、「指示が的確」が36.4%となっている。
- ・在留資格別では、[就労関係の在留資格]の「指示が的確」(+22.1pt)、「業務経験が豊か/知識が豊富」(+24.0pt)が全体と比べて高い



日本で働いてみて感じた違い（複数回答）

- ・全体では「挨拶・マナーが厳しい」が最も高(39.1%)、次いで「時間に厳しい」が36.1%、「上下関係が厳しい」が34.7%。
- ・在留資格別では、全体と比較して[就労関係の在留資格]で「上下関係が厳しい」(+20pt)、「休みが取りにくい」(+14.6pt)、「指示が曖昧である」(+19.7pt)と他の在留資格保持者とは異なる傾向。



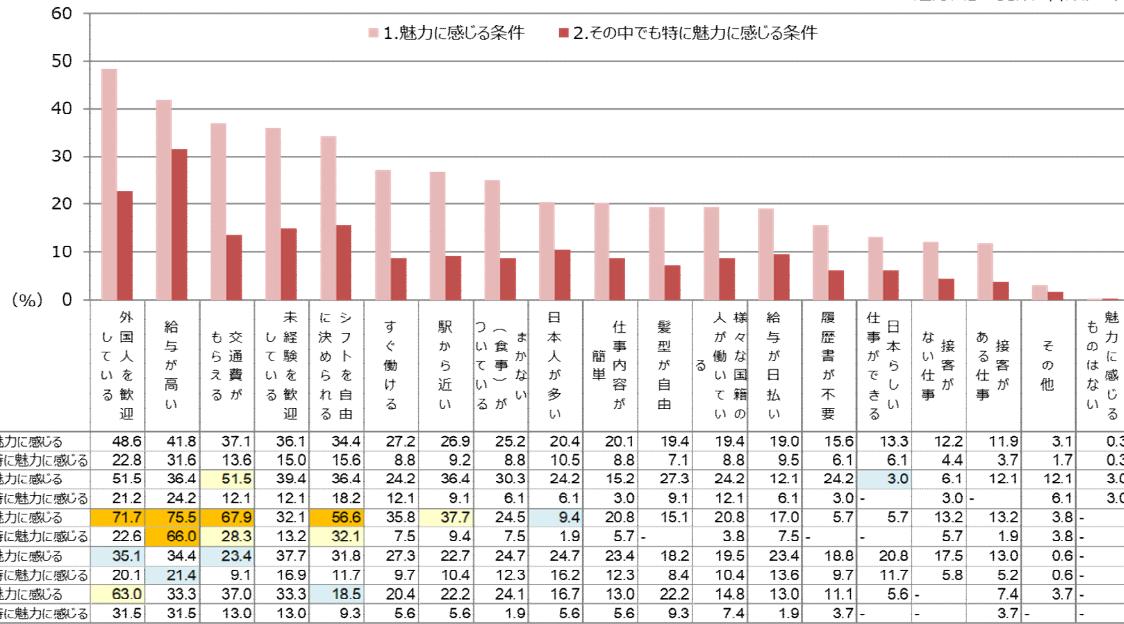
(4) アルバイト探し

アルバイト探しの際に魅力に感じる条件（複数回答）／最も当てはまるもの（単一回答）

・全体では、「外国人を歓迎している」が最も高く48.6%、次いで「給与が高い」が41.8%、「交通費がもらえる」が37.1%。

・最も当てはまるものについて全体では「給与が高い」が最も高い31.6%、次いで「外国人を歓迎している」が22.8%。

※「魅力に感じる」順で降順ソート



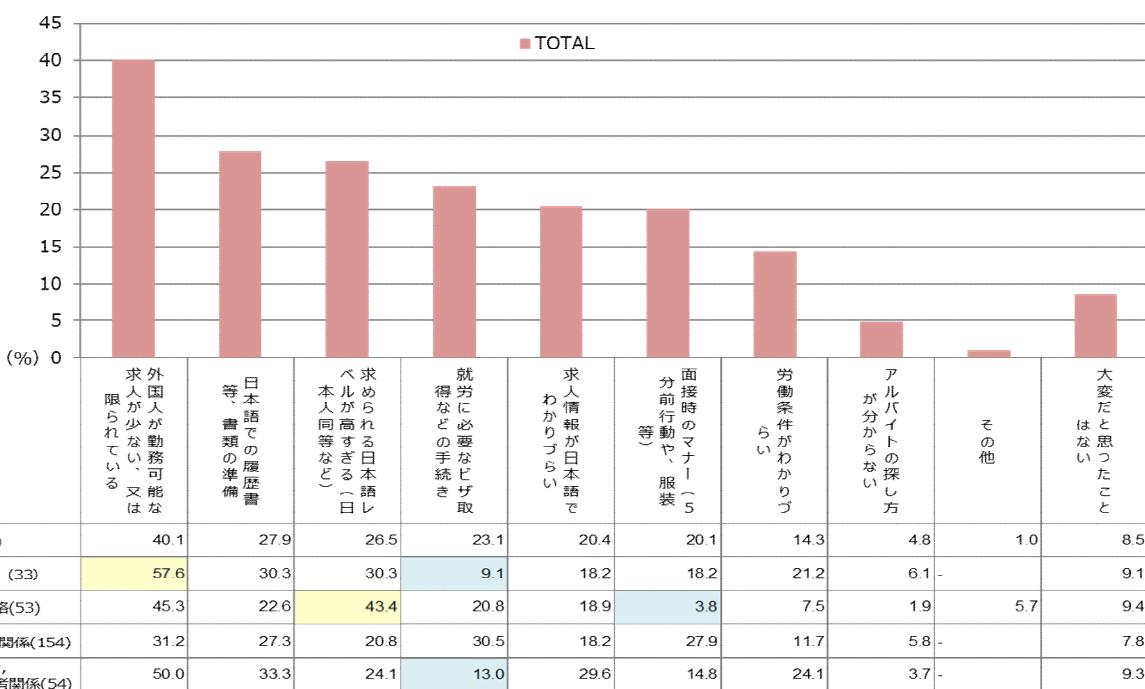
TOTAL+20pt TOTAL+10pt TOTAL-10pt TOTAL-20pt

日本でアルバイトを探す際に大変だと思うこと（複数回答）

・全体では、「外国人が勤務可能な求人が少ない、又は限られている」が最も高く40.1%、次いで「日本語での履歴書等、書類の準備」が27.9%、「求められる日本語が高すぎる」が26.5%となっている。

・各在留資格別でも「外国人が勤務可能な求人が少ない、又は限られている」が最も高い項目となっており、

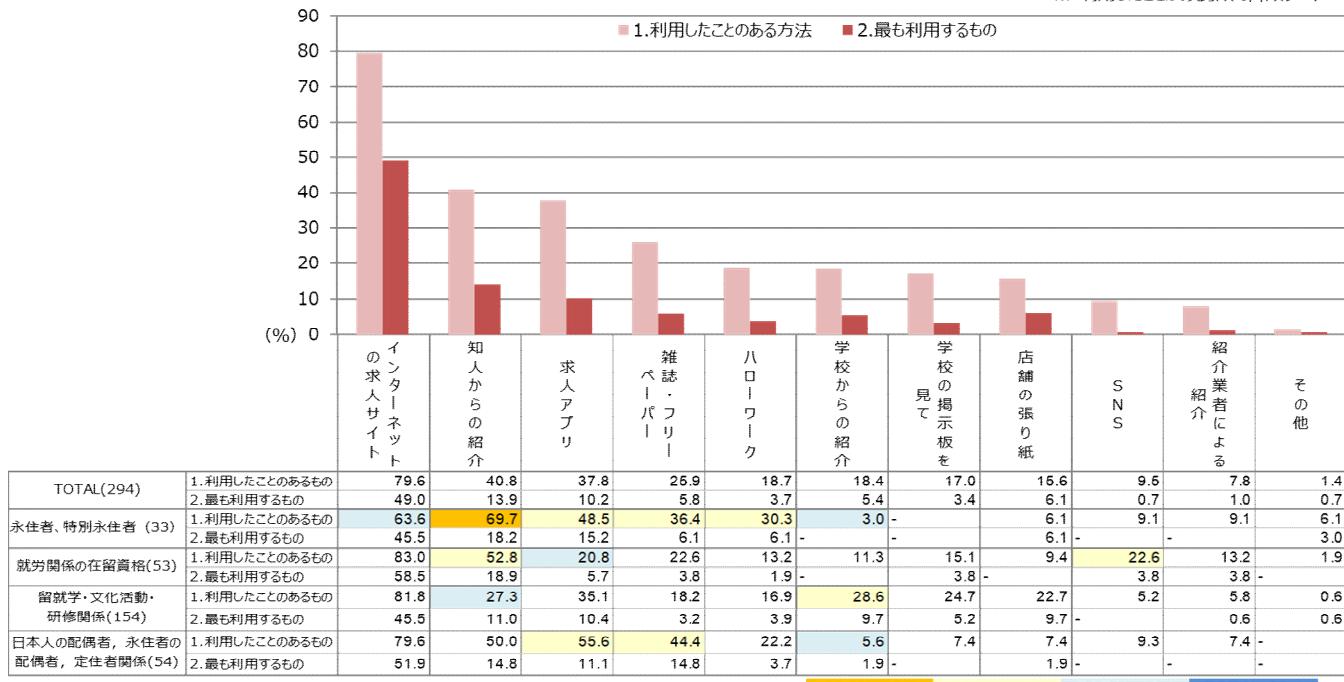
日本における外国人アルバイトの受入体制が不十分であると感じていることが分かる。



アルバイト探しの際に利用したことがあるもの（複数回答）／最も利用するもの（単一回答）

・全体では、「インターネットの求人サイト」が最も高(79.6%、次いで「知人からの紹介」が40.8%、「求人アプリ」が37.8%で、最も利用する方法についても上位3つは同じ方法となっている。

※「利用したことがある」順で降順ソート



TOTAL+20pt TOTAL+10pt TOTAL-10pt TOTAL-20pt